

廃棄物マネジメント研究センター活動 (2)

2. 地域における廃棄物マネジメント研究と交流

① 3Rの政策と行動に基づく循環型社会の形成に関する研究

循環型社会は、市町村域から、県域、圏域へと幾つかのレベルでの循環型社会が協動的に働くことが望まれます。ごみが発生する市町村域から、資源化・処理・処分が置かれる県域や圏域との間で物質収支、物質循環をとらえ、理想的な階層的循環型社会を創造します。また、廃棄物収集・処理などの行政サービスを都市構造・機能の設計にどのように組み入れるかなどの、計画段階での廃棄物マネジメントについても考えます。

岡山大学では21世紀COEプログラムにおいて「戦略的廃棄物マネジメント」についての研究を行い、その結実としてWLCAツール(Waste Life Cycle Assessment Tools)を開発しました。近年では、廃棄物の収集から処理、処分にかけて総合的に評価可能なExtended WLCAツールの開発を目指しています。

② 災害廃棄物マネジメントの構築に関する研究

平成23年の東日本大震災の経験から、各県では今後の巨大地震に備えて津波被害の見直しが進められています。中国・四国地域では台風による高潮や局地豪雨による河川氾濫の件数が増えており、それによる家屋の浸水や倒壊も視野に入れて、平生より被害のレベルを予測し対策を練っておかなければなりません。これらの自然災害は広域で起こることが多く、多市町村が連携して災害対策に当たることが望ましいと考えられます。そこで、瀬戸内海沿岸地域で発生する水害に対して、廃棄物量の推計や仮置場の選択、がれきの輸送計画、がれき処理能力の把握と処理計画などの支援するツールを開発し、それを利用して中国・四国地域の関係自治体間で災害復興対策ネットワークを形成することを目指します。

③ 技術交流会の開催

岡山市の支援で設立された岡山市エコ技術研究会は、リサイクルに関心のある民間会社や市民が参加する研究会です。廃棄物マネジメント研究センターでは、岡山市エコ技術研究会と定例交流会を開いて、情報交換や共同イベントへの参加を行っています。

④ 市民向け環境イベントの開催

廃棄物マネジメント研究センターでは、テーマを廃棄物だけでなくエネルギー・資源に広げ、環境学習の要素も取り込みながら、「集まれ!市民のエコライフ&エコテクノロジー」と題するイベントを開催しています。子供を対象に環境学習をテーマとした数々の体験、実験、展示企画や一般市民を対象とした講演会など、岡山市や環境団体等の協力を頂き、学官市民の体制で実施しています。

